

◆科目名：理論言語学 B

◆曜限：火曜4・5限(15:25-17:05, 17:20-19:00)

◆担当者：石井 透

◆オフィスアワー：By Appointment (tishii@meiji.ac.jp)

◆授業内容

現在の生成文法では、ミニマリスト・プログラムを理論的指針として研究が進められています。しかし、ミニマリスト・プログラムのみを見ていても、その本質を理解することが出来ないために、オリジナルな研究へと結び付けるのが難しいというのが現状だと思われます。ミニマリスト・プログラムの本質を理解するには、どのような概念的・経験的要請に基づいて理論が進展してきたというを理解することが必要です。さらに、ミニマリスト・プログラムの指針に基づいて書かれている論文であっても、それ以前の研究成果が基盤となっている以上、以前仮定されていた理論的枠組みの理解が不可欠となります。ミニマリスト・プログラムではMergeという操作のみによって構造が組み立てられると考えられています。しかし、そこに至る理論的背景や経験的証拠についての理解がなければ、真に理解したことにはなりません。

この授業では、Move (= Internal Merge)及びMoveへの制約に関する主要文献を読みながら、その理論的推移を概観し理解を深めたいと思います。より具体的には、Moveへの制約としてECPを概観したのち、Mergeに対する制約としてのBinarityに関連してUnambiguous PathとConnectednessについて概観します。Chomsky (2021)においてはForm Copy (FC)という操作が提案されていますが、それに関連した経済性の原理及びForm Chainについての文献、そしてコントロールのFC分析の先駆的なものとしてコントロールの移動分析についての文献も取り上げます。さらに、最小探索についても取り上げる予定です。

1. Proper Government and the ECP

Read: Lasnik and Saito (1992) Chapter 1, Chapter 2

2. Unambiguous Path and Connectedness

Read: Kayne (1983) Chapter 7, Chapter 8

3. Economy and Form Chain

Read: Chomsky (1995) Chapter 2, Chapter 3, sections 3.1-3.2

4. Movement Theory of Control

Read: Hornstein (2001) Chapter 2

5. Minimal Search

Read: Ke (2022)

◆参考文献:

Chomsky, N. (1995) *The minimalist program*, MIT Press.

Lasnik, H. and M. Saito (1992) *Move α* , MIT Press.

Hornstein, N. (2001) *Move! A minimalist theory of construal*, Blackwell.

Kayne, R. (1983) *Connectedness and Binary Branching*, Foris.

Ke, A. (2022) Can agree and labeling be reduced to minimal search?, *Linguistic Inquiry*.

◆成績評価:

Attendance 10%, Class Participation 20%, Presentation 70%